

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：総務管理費 目：広報費

事業名：啓発宣伝費（広報紙等）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

知事直轄 広報課 県政広報係 電話番号：058-272-1111（内 2075）

E-mail：c11103@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 50,409 千円（前年度予算額：55,234 千円）

< 財源内訳 >

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	55,234	0	0	0	0	0	0	0	55,234
要求額	50,409	0	0	0	0	0	0	0	50,409
決定額	50,409	0	0	0	0	0	0	0	50,409

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による税収減が鮮明になる中、本県の財政状況は非常に厳しい状況となっており、広報紙等の広報経費も見直しを余儀なくされている。
- ・一方で、新型コロナウイルス感染症に関する情報は県民の生命・健康に直結する重要な事項であり、広報紙をはじめとする各種媒体を活用し、広く県民に行き渡るよう広報を行う必要がある。
- ・また、「清流の国ぎふ」創生総合戦略に盛り込まれた各種重点施策・事業の周知に加え、子育て支援や防災など県民生活の安心・安全に直結する事項の啓発・お知らせについても、各種媒体を活用し、迅速かつ重点的に広報を行う必要がある。
- ・令和3年度については、こうした厳しい財政状況下にあっても、県民に必要な県政情報を提供するため、関係部局と緊密に連携しつつ最大の広報効果を得られるような広報紙、地デジ・データ放送等を活用し、県民に発信する必要がある。

(2) 事業内容

- ・ 広報紙の発行

県政情報に加え、施設の利用案内、募集情報など、暮らしに役立つ身近な情報を紙媒体で各世帯に広く発信する。

- ・ 点字版・音声版・テキストメール版の発行

視覚障がい者に県政に関する情報を提供する。希望者への送付に加えて公共施設（市町村図書館等）に配架し、利用に供する。

- ・ 地デジ・データ放送による県政情報の提供

自宅のテレビからリモコンの簡単な操作で、いつでも、誰でも手軽に県政情報を入手できる。定期的に内容を更新し、鮮度の高い情報を発信する。

- ・ 広報紙（点字版・音声版含む） 45,909 千円

- ・ 地デジ・データ放送 4,500 千円

(3) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	13,423	市町村広報紙刷り込み手数料等
委託料	36,986	地域情報誌掲載、点字・音声版制作、地デジ・データ放送等
合計	50,409	

決定額の考え方

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

広報紙（点字版・音声版含む）、地デジ・データ放送等により県政情報を広く県民に提供する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(R)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

事業目標としている県民の広報紙等情報取得（提供）数（デジタル関連）を正確に把握することが困難であるため。

(前年度の取組)

- ・広報紙による広報に加え、地デジ・データ放送等の媒体を活用し、県政情報を広く県民に広報した。
- ・点字版・音声版・テキストメール版の広報紙を発行した。

(前年度の成果)

- ・県民の情報入手手段が多様化していることから、紙媒体での広報に加え、地デジ・データ放送等の媒体を活用して広報手段の多様化を図っており、県民からも情報の入手手段として認知されている。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	県政の様々な情報を、その情報を必要とする県民に伝える必要があり、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	広報紙に加え、ホームページや地デジ・データ放送も活用し、県民に情報を発信しており、概ね効果を得られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	広報紙では紙面や発行日の制約で伝えきれない情報を、地デジ・データ放送等を活用し、効果的・効率的な広報に努めた。

(今後の課題)

<p>的確な広報を進めるため、県民ニーズの把握に努める必要がある。</p> <p>県民の情報入手手段が多様化していることから、県民の情報入手方法の状況把握に努める必要がある。</p>

(次年度の方向性)

引き続き、県民の情報入手手段の多様化に合わせた広報を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	
---	--